

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 小中学校校舎改修事業（青葉・富岸小学校便所洋式化工事）（青葉小学校・幌別中学校変圧器改修工事）	
区分	番号	名称	
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	
小分類	3	教育環境の充実	
主要な施策	1	児童生徒の安全確保	
事務事業番号	009	事務事業コード	52231009
		事業開始年度	平成 1 9 年度
		事業終了年度	平成 - 年度
会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名 小学校便所洋式化事業費、小学校校舎改修事業費、中学校校舎改修事業費	
部 名	教育部	グループ名	総務 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 市内小中学校の老朽化に伴う、校舎内部等の改修を行い、教育環境の改善を図る。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 小中学校の老朽化に伴い、校舎内部の改修、受変電設備の改修整備を順次を進める。 大便器を和式から洋式に改修する。 整備対象学校数 小学校 8 校・中学校 5 校 小学校便所洋式化事業費 平成 2 2 年度事業実施箇所 各小学校洋式化 2 期工事 （青葉小学校・富岸小学校） 平成 2 3 年度事業実施箇所 各小学校洋式化 2 期工事 （幌別小学校・幌別西小学校・若草小学校） 小中学校校舎改修事業費 平成 2 2 年度事業実施箇所（変圧器改修） （青葉小学校・幌別中学校） 平成 2 3 年度事業実施箇所（受変電設備改修） （鶯別小学校・幌別西小学校・幌別小学校・登別小学校・鶯別中学校・幌別中学校）
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 大便器を和式から洋式に変更及び老朽化した受変電設備を改修することにより、教育環境の改善を図るとともに子ども達が安全で安心な学校生活を送ることができる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 学校教育法

指標の推移		単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	改修した小中学校（便所洋式化）	校	目標値	2	3	2	5	
			実績値	2				
	改修した小中学校（受変電設備改修・その他）	校	目標値	2	11	5	1	
			実績値	2				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円	6,000	9,100				0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	8,000	8,000				0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	91	42,000	19,800	44,951		64,751
合 計			14,091	59,100	19,800	44,951	0	64,751
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	332	682			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		332	682			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、市内小中学校の受変電の整備及び大便器を和式から洋式に年次的に改修を行うものであり、児童・生徒等が快適な環境の中で学習することができるように、行政が整備することが妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 年次的に改善しており、児童・生徒の学習環境の向上に成果が上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続により教育環境の改善を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 工事の方法や使用する資材の選定において、当初より必要最低限のものを選定している。また、工事における人工や所要時間の削減も難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童・生徒が快適な環境の中、学習できるよう、年次的に改修し、衛生環境の改善を図る。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）